

K I Y O S A T O

2025・5

組合だより

No.389



Topics

- ・第77回通常総会開催
- ・各組織定期総会開催
- ・新規就農者激励状贈呈式
- ・人事異動が発令されました。

～「次世代に繋がる生産体制と経営力」の強化～

第77回通常総会開催

4月8日、第77回通常総会が午前9時に白戸参事の開会宣言により開会し、出席者全員のJA綱領朗唱にて開催されました。

三上組合長より冒頭「本日ここに無事、第77回清里町農業協同組合通常総会を行えることに対し、一言開会のご挨拶を申し上げます。組合員の皆さまに於かれましては春耕作業の準備等、大変ご多忙のところ本総会にご参集頂き、お礼を申し上げます。また日頃より農協事業運営に対しご理解、ご協力を頂いておりますことに合わせてお礼を申し上げます。

ご来賓の古谷清里町長様、前中町議会議長様に於かれましては公務多用の所ご臨席を賜り深くお礼申し上げます。北海道JAグループ各連合会の皆さま、関係機関の皆さまに於かれましてもご多用中にもかかわらず、大勢の皆さまにご臨席を賜り感謝とお礼申し上げます。

さて、令和6年度を振り返り、国際的には、政治・経済情勢の一層の不透明化、気候変動、世界的な人口増加と複合的なリスクが顕在化する中、食料安全保障の確保・強化が課題となりました。我が国における農政をめぐる情勢は、生産資材が高止まる一方、多くの品目において価格への転嫁は十分には追いついておらず、さらに自然災害が激甚化・頻発する傾向にあるなど、生産現場にとって厳しい状況が続いています。

こうした中、食料・農業・農村基本計画が改正され、食料安全保障対策予算をはじめとする6年度農業関連補正予算・7年度予算の確保等に、状況の理解を頂いたなかで政策の安定を図ったところにあります。

本年度令和7年に入り、基本計画実行において、我々北海道大規模化畑作・酪農畜産地帯にとって、食料安全保障の強化に資する適正な輪作体系の確立と確実な経営安定対策の実現、小麦の流通・保管体制の抜本的強化ならびに大豆の国産需要拡大、酪農および肉用牛生産の近代化を図る基本方針の策定など強く要請するところです。

そうした背景の中、令和6年度における我々清里の農業を振り返りますと、農協運営体制において役員改選年を迎え、通常総会で組合員皆さまのご承認を得て、新役員執行体制で事業運営を行なわせて頂くことができました。昨年は融雪も早く春耕期が早まり、生育良好な中で収穫まで安定した経過を辿りました。結果として農産物・酪畜生産においては平年よりやや良の生産高となりました。しかし、順調な中でも温暖化による病害の発生が強まり、麦の赤さび、甜菜の褐斑病、でん粉馬鈴薯は高温での軟弱化、肥料・農薬を効率よく使用し努力をしているところでありながらも、病害対策では最大限資材投資せざるを得ない状況でありました。酪農畜産においては、乳価上昇が続いているものの、飼料も高止まりの状況です。こうした状況下において農畜産物収益率は低下傾向となる結果でした。

農協運営においては、業務改善を図りながら、組合員皆さまの営農支援に鋭意努力し運営して参りました。6年12月末に1億6千9百万円の期中値引き奨励対策を実施し、6年度決算で1億円の特別配当を計画しております。組合員の皆さまには、厳しい経営環境の中、事業利用へ結果していただいたこと、改めて感謝致します。

本年7年度事業計画においても、目まぐるしく変化する経済環境の中、本総会

で事業計画案に対し、協議を宜しくお願い致します。さらに、第11期総合5ヶ年計画の初年度実行年であります。皆さまに様々な意見を頂きながら5ヶ年に実行すべく対策を計画し懇談会を通して説明している経過にあります。

社会的に食料安全保障や国内農畜産物の安定供給への関心が高まっている中、農業・JAの果たすべき社会的責任は益々大きくなっている重要な5ヶ年です。そのような時期に地域農業をいかに維持し、次の世代に、どう継承していくか、という視点が重要です。そのためには生産基盤の強化が不可欠であると考えます。気象変動に対応した農畜産物生産に向けて輪作体系を整え、健全な土づくり・地域農業を動かす人づくりとあわせて健全な土壌を維持し、「次世代に繋がる生産体制と経営力」の強化を図っていかねばなりません。一方、農協事業運営においても、麦作工場・でん粉工場・野菜集出荷施設・大豆乾燥工場を運営する労働力確保の問題、人口減少を辿る地方地域にとって、同じく担い手の減少と共に解決方法に苦戦しているところではありますが、基盤強化の一面として対策を図らなければなりません。

そして、地域政策と産業政策は車の両輪と考えられます。清里町の総合5ヶ年計画と並行して推進し清里農業の発展は地域の支えとなり、新たな地域社会を満たすために活力ある清里の農業を持続していかなければならない側面と合わせて5ヶ年計画達成へ向けてご理解をお願い致します。

このように本年は農業環境の大きな変化、農政改革の節目となります。農業組織としてJAグループ一丸となり政策要請に取り組みますが、そこには政治力も重要であります。道内選出国會議員の

皆さまへの支援は基より、7月に行われる参議院選挙は最も重要です。全国農政連代表として現職「山田」としお参議院議員「の後継として、昨年総会決議を頂いた、「東野ひでき」氏を送り出し活躍していただくこととなっております。本日、ご挨拶いただく予定となっておりますので、仲間つくりの輪を広げ、力強い応援を送ってあげたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

結びとなりますが、本年が事故、災害がなく豊穡の出来秋を迎えられます事、組合員・ご家族皆さま方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。挨拶と致します。」と挨拶がありました。

また、石井会長理事より「本日は清里町農協第77回の通常総会に早朝より、時節柄お忙しい中このように多くの皆さま方のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、常日頃より農協事業ならびに連合会事業に対しまして、特段なるご理解、ご協力を頂いておりますことに改めてお礼と感謝申し上げます。

本日につきましては、古谷清里町長様ならびに前中町議會議長様、連合会の皆さま方、また関係機関の皆さま方のご臨席のもと、本総会が開催されること改めて喜ぶところでございます。今後とも各連合会の皆さま方に於かれましては、農協事業、また清里農協にお力添えを頂きますことを、改めてお願い致します。

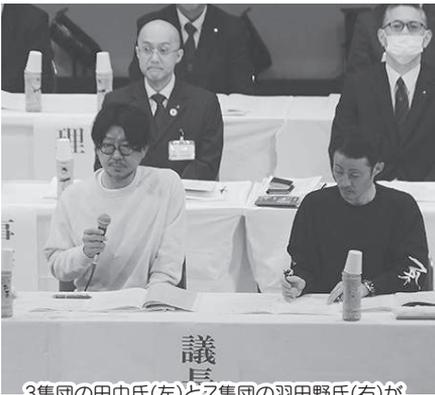
令和7年度は、例年より融雪が少し遅れておりますが、平年並みの播き付けにすることを期待するところです。今の時期、農業者の皆さま方に於いては不安と期待が入り混じる時期であります。連合会においても4月から新事業が始まり、最近ではアメリカのトランプ大統領が相互関税を発表し、世界的に混乱が起きている状況にあります。株価も落ち込

んでおりますが、安定運用の中で皆さま方に還元することが私たちの使命です。ので、工夫をしながら、今後1年間、令和7年度事業を乗り切って参りたいと考えております。

また、「コロナ禍以降の世界的な情勢につきましても、不安定感、不透明感が漂っており、特に世界情勢の紛争等も言めた中において、農業情勢の中では資材価格等も高止まりするような状況下です。製品価格、食品価格におきましても、少しずつ高値で推移しておりますが、この資材高を克服するだけの値上がりではなく、年々農家経済においては厳しさが増しており、現状打破が大変重要であると感じております。政府においても食料安保に重点を置いた中、25年振りに食料・農業・農村基本法が改正され、本年度には基本計画が制定されましたが、食料供給基地というところにおいての北海道の位置づけが重要視されており、私たちの北海道の農業においては、日本の中心として進んでいかねばならない立ち位置ではないかと、感じているところで

す。

北海道農業の現状では、畑作青果においては経営所得安定対策の数量払い単



議長
3集団の田中氏(左)と7集団の羽田野氏(右)が議長に選任

価が下がり、じり貧状態に向かっているところ。酪農畜産におきましても、この1、2年で乳価が少しずつ上がってきており、「コスト」においての影響が薄まってきてはおりますが、経営安定へは進んでいかないのが現状です。米価については、10年以上アメリカで下落してまいりましたが、昨年度に概算金も含めた中、米の高止まりにおいては、農家の所得が一時的に安定しました。稲作に関しても今後は適正価格という部分において進んでいかなければ経営は厳しい状況にあり、食料自給率も含めた中での基本法、基本計画を制定して頂き、北海道を重要視していただかなくては、北海道の農業は、壊滅的な状況に陥ると思っております。私たち農業者が一致団結した中で現状打破を進めていかねばなりません。

昨年度第31回北海道大会におきましては、持続可能な農業ならびに経営の安定、そして理解醸成として、消費者、また農業以外の皆さまに農業の現実を理解して応援していただく必要があり、様々な形でPR活動をしていくことが重要であると思っております。今後3年間、北海道およびJAグループが中心となり、皆さまと協力しながら進めさせていただきます。と考えております。

今回、全国農政連から東野ひでき氏が候補者として選出させていただきました。東野ひでき氏は7月の参議院選挙に向け、現在は全国各地を積極的に回っており、本総会にもご出席いただく予定となっております。東野ひでき氏は長年農



参議院議員立候補予定者
東野ひでき氏

業に携わり、北海道の農業の厳しさを肌身で理解している方であり、生の声を国政の方に届けていける逸材です。農業者の代表を国政に送る大きなチャンスを受けている今、皆さまのお力添えの中で東野ひでき氏を国政の場に立たせていただきます。

農業の部分において、1つは経営安定等も含めた中での営農技術等の向上が大事なところであり、もう1つはこの現状を理解し、政治の中でテコ入れができるような大きな力があるところ。この2つの両輪をうまく回しながら、北海道の農業の安定、また基盤確立に向けて取り組んでいくチャンスだと考えております。東野ひでき氏を皆さま方のご家族、ご親戚、ご友人にご紹介をいただき、輪を広げていただくと、北海道の農業の力というのを見せたいかねばなりません。北海道の農業者の数と力が違うところを、国政の方に見ていただながら、北海道の農業は無視できない、蔑ろにできないと感じてもらえなければ埋没してしまうと私は危機感を感じております。その点においてもご参会の皆さま方の絶大なご協力のほど、宜しくお願いしたいと思います。と考えております。本日、本人が本会場にいられるところでもございますので、熱い応援をいただければ大変ありがたく思います。私たち連合会、またJAグループとしても、今後とも農業者、組合員の皆さま方の生活、また農業経営のお役に立てるよう進んで参りたいと考えておりますので、今後とも皆さま方の結集を宜しくお願いしたいと思います。

やはり1つの団結力というものは、大きな力、また新しいものを生むということ。で、皆さま方にも考えていただければありがたいと思っております。

結びとなりますが、本年度、農作業事故なく、豊稔の出来秋であります。

ことに、組合員、またご家族の皆さま方のご健康とご多幸、また農業情勢が良いほうに進んでいくことを切に願っています。私からのご挨拶とさせていただきます。

その後、来賓代表として、清里町古谷町長様、前中町議会議長様、JA北海道信連北見支所 高橋支所長様よりご挨拶をいただき議事に入りました。

議長には第3営農集団の田中彬彦氏、第7営農集団の羽田野正人氏が選任され議案審議に入りました。議長団のスムーズな進行により全議案が可決された後、参議院議員立候補予定者の東野ひでき氏より、現状の厳しい農業情勢の立て直し、日本の食料基地である北海道農業を継続できる様、農政への要請をするべく、本年の参議院選への出馬を決意した意気込みと、農業に関わる当JA、関係機関への激励の言葉をいただきました。また、今年度入組した新人職員の挨拶が行われ12時00分に工藤専務の閉会挨拶を以て無事終了しました。



令和7年度新人職員挨拶

清里町農民連盟

第54回定期総会開催



4月9日(水)、第54回清里町農民連盟定期総会が、清里町農協二階会議室に於いて開催されました。代議員総数40名中、出席者39名、委任状1名、合計40名となり、総会が成立し、佐藤孝農畜産対策専門委員長の開会宣言によって総会は始まりました。

桑島委員長は開会にあたり、「昨年毛生産資材の高騰が続ぎ、農業経営に大きな影響を与えていた。トランプ大統領に代わり、相互関税など打ち出しているが、農業を犠牲にするようなことのないよう注視する必要がある。国内においては、食料・農業・農村基本法が改正されたが、生産現場の期待していた将来に希望が見通せる内容とは違っていたので、引き続き運動を進めていきたい。また、今年は畑作物の直接支払交付金の改定の年にあたるので、再生産可能な所得を確保できるように要請していく。町内対策では、種子馬鈴薯の復活ルールを粘り強く訴え、各関係機関とも意見交換を実施し、鳥獣被害対策、国有林対策などを進めてきた。今後も盟友の力を結集し農民運動を進めていきたい。」と挨拶しました。

議長には、3集団の梅内和也氏が選任され、議事録署名委員に、4集団の成田雄介氏と5集団の吉田義博氏が、書記には清里町農協経営課辺見主幹が任命されました。

来賓として、古谷一夫清里町長、清里町農協三上博由代表理事組合長、北見地区農民連盟石井博幸副委員長、川原田英世衆議院議員塚城秘書より祝辞を頂きました。

また、清里町議会伊藤忠之副議長、清里町農業委員会岡本勝弘会長、斜里町農民同盟鳥越久生委員長、ホクレン斜里原料所古川和貴所長代理、清里町農協女性部谷澤富士枝部長、清里町農協青年部前中裕登部長、北見地区農民連盟岡田書記のご出席を頂きました。武部新衆議院議員、徳永工リ参議院議員、清水敬弘道議会議員からのメッセージを事務局より紹介しました。

続いて、定期総会スローガンを吉田哲也組織対策副委員長により確認の後、議事に入りました。

第一号議案「令和6年度活動経過報告」について、町内対策では、関係団体との意見交換、国有林対策、鳥獣被害対策や種子馬鈴薯しよ対策、馬鈴薯・てん菜対策、広報活動等、また、基本法の改正、酪農畜産・畑作・税対策などの1年間の運動経過を各専門委員長及び局長より報告し、拍手により承認されました。続いて、第二号議案「令和6年度会計収支決算報告」久保宗央書記長より説明。引き続き林雄一監事より「決算監査報告」があり、それぞれ拍手により承認されました。

第二号議案「令和7年度運動方針(案)」では、食料安全保障の強化、畑作物の直接支払交付金の改定、生産資材高騰対策、真の農政改革の実現、生産現場の視点に立った農政運動を行っていくこと、町内対策の充実、移動執行委員会の開催など各専門委員長及び局長より提案。1集団

佐藤秀弘さんより、有害鳥獣対策について、シカ柵の内側でもエサによる誘引駆除を行えないか検討してほしいとの意見があり、委員長より、設置場所などを検討しながら町にも相談していきたいと回答しました。第四号議案「令和7年度収支予算(案)」及び、「賦課金徴収(案)」を書記長より説明し、それぞれ拍手により承認されました。

その後「国内農業生産の増大を図る基本計画改訂等に関する特別決議(案)」トランプ関税に対応する「食料主権を守り、食料安全保障の強化を求める特別決議」を岩本副委員長より提案され、拍手により承認されました。

閉会に当たり石井副委員長より、「それぞれの声を寄せ合い、共に支え合う関係を築いていくことがこの連盟の強みであり、私たちが目指す理想の姿である。」と挨拶があり、午後3時45分、佐藤孝農畜産対策専門委員長の閉会宣言をもって終了しました。



桑島委員長挨拶

JA清里町女性部 第50回通常総会

去る2月26日、清里町生涯学習センターにおいて第50回JA清里町女性部通常総会が開催されました。

来賓にはJA清里町 工藤専務、清里町 古谷町長、網走農業改良普及センター 清里支所 荒井支所長、清里農民連盟 石井副委員長のご出席を賜り、女性部員87名(内委任状11名)が出席のもとJA綱領朗唱のあと開催されました。

議長団には、春名真由美さん(4集団)、長谷川知恵美さん(10集団)が選出され議案審議に入りました。議案第1号「令和6年度事業報告並びに収支決算(女性部・フレッシュミズ・アカシヤ部会)」について、議案第2号「令和7年度事業計画案並びに収支予算案(女性部・フレッシュミズ・アカシヤ部会)」について、第3号議案「役員改選について」第4号議案「申し合わせ事項の確認について」が執行部より提案され、全ての議案について原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度 JA清里町女性部役員

| | |
|-----------|-----------------|
| 部長 | 谷澤 富士枝 氏(第7集団) |
| 副部長 | 岩崎 美和 氏(第4集団) |
| 書記 | 塚田 麻由美 氏(第8集団) |
| 會計 | 荒木 直美 氏(第7集団) |
| 營農生活部 | 太田 順子 氏(第2集団) |
| 文化体育部 | 津田 絵美 氏(第1集団) |
| 監事 | 我妻 史子 氏(第3集団) |
| フレッシュミズ部長 | 島田 由希子 氏(第5集団) |
| フレッシュミズ部長 | 浅井 絢子 氏(第6集団) |
| アカシヤ部会長 | 中村 美穂 氏(第9集団) |
| | 長谷川 知恵美氏(第10集団) |
| | 辺見 珠美 氏(第8集団) |
| | 相内 茂子 氏(第1集団) |



清里町農協青年部 第63回定期総会

去る2月25日、第63回清里町農協青年部の定期総会がJA清里町2階会議室で開催され、青年部員40名(内委任状15名)が出席しました。

来賓には、JA清里町 三上組合長、清里町 古谷町長、清里町農業委員会 岡本会長、清里町農民連盟 桑島委員長、ホクレン斜里原料所 東松所長、網走農業改良普及センター 清里支所 荒木支所長のご出席を賜りました。

議案第1号「令和6年度事業報告並びに収支決算報告及び監査報告について」、議案第2号「役員改選について」、議案第3号「令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)」について、「議案第4号「令和7年度部費の徴収方法について」が執行部より提案されました。質疑には、視察研修の内容などが挙げられ、全ての議題において原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度 清里町農協青年部役員

| | |
|----------|----------------|
| 部長 | 前中 裕登 氏(第8集団) |
| 副部長(農政兼) | 瓢子 賢人 氏(第7集団) |
| 副部長(農畜兼) | 浅井 雅志 氏(第3集団) |
| 書記 | 菅原 大和 氏(第9集団) |
| 會計 | 工藤 翔大 氏(第10集団) |
| 代表理事 | 塩澤 芳樹 氏(第1集団) |
| 理事 | 塩澤 有希也氏(第1集団) |
| | 橋立 真輝 氏(第2集団) |
| | 二俣 有人 氏(第2集団) |
| | 谷澤 陽介 氏(第7集団) |
| | 垂石 航 氏(第9集団) |
| | 岡崎 智仁 氏(第9集団) |
| 顧問 | 畠山 幸樹 氏(第2集団) |



玉ねぎ生産組合総会

2月4日、第41回清里町玉ねぎ生産組合の定期総会が開催され、組合員17名(内委任状5名)が出席しました。
議案第1号『令和6年度経過報告並びに収支決算報告及び会計監査報告』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)』、議案第3号『役員改選について』を執行部より提案し、議案第4号『その他』については、早出し出荷について報告があり、原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
・組合長 金森 裕輔氏
・副組合長 大町 敏隆氏



大豆組合総会

3月27日、第9回清里町大豆組合定期総会が開催され、組合員48名(内委任状12名)が出席しました。
議案第1号『令和6年度事業報告並びに収支決算報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』が執行部より提案され、全員賛成により原案通り可決されました。議案第4号『その他』については令和6年度刈取り時の飛散についての報告があり、総会は終了しました。

★令和7年度役員
・組合長 岩瀬 豊秀氏
・副組合長 浅井 博幸氏



ごぼう生産組合総会

3月24日、第36回清里町ごぼう生産組合定期総会が開催され、組合員7名が出席しました。
議案第1号『令和6年度事業報告並びに収支決算報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』が執行部より提案、議案第4号『その他』については視察研修について事務局より報告されました。全ての議案において原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
・組合長 津田 敏文氏
・副組合長 塚田 勉氏



長いも生産組合総会

2月27日、第38回清里町長いも生産組合の定期総会が開催され、組合員14名(内委任状2名)が出席しました。
議案第1号『令和6年度事業報告並びに収支決算報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』が執行部より提案され、議案第4号『その他』については事務局より報告があり、原案通り承認され、総会は終了しました。

★令和7年度役員
・組合長 市橋 淳史氏
・副組合長 志賀 盛太郎氏



そば生産組合総会

2月17日、第36回清里町そば生産組合の定期総会が開催され、組合員7名(内委任状1名)が出席しました。
議案第1号『令和6年度経過報告及び収支決算報告並びに会計監査報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』、議案第4号『その他』について審議され、原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
・組合長 大岸 直裕氏
・副組合長 大槻 仁志氏



種子麦生産組合総会

2月5日、第15回清里町種子麦生産組合総会が開催され、組合員20名(内委任状2名)が出席しました。
議案第1号『令和6年度事業報告及び収支決算報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について』が事務局より提案され、議案第3号『その他』については品種の切り替え時期についての質問がありました。全ての議案において原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
・組合長 佐藤 学氏
・副組合長 佐久間 伸幸氏



わさび生産組合総会

3月21日、第37回清里町わさび生産組合定期総会が開催され、組合員2名が出席しました。

議案第1号『令和6年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』、議案第4号『その他』については斜網地区農協わさび耕作組合協議会定期総会について事務局より報告があり、全ての議案において原案通り承認され、総会は終了しました。

★令和7年度役員
 ・組合長 長廻 和美氏
 ・副組合長 山崎 一幸氏



和牛生産改良組合総会

4月10日、第13回清里町和牛生産改良組合総会が開催され、組合員8名(内委任状1名)が出席しました。

議案第1号『令和6年度事業報告並びに収支決算報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『令和7年度会費の徴収方法について』、議案第4号『役員改選について』が執行部より提案され、原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
 ・組合長 佐野 吉延氏
 ・副組合長 中村 弘樹氏



スイートコーン生産組合総会

3月25日、第37回清里町スイートコーン生産組合総会が開催され、組合員6名が出席しました。

議案第1号『令和6年度事業報告並びに収支決算報告及び会計監査報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』が執行部より提案され、全ての議案において原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
 ・組合長 我妻 健一氏
 ・副組合長 高見 則之氏



馬鈴しよ採種組合連合会総会

1月31日、第53回清里町馬鈴しよ採種組合連合会の通常総会が開催され組合員20名(内委任状2名)が出席しました。

議案第1号『令和6年度事業報告並びに収支決算報告及び会計監査報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』、議案第3号『役員改選について』が提案され、原案通り承認され総会は終了しました。

★令和7年度役員
 ・会長 浅井 博幸氏
 ・副会長 石井 勝之氏



清里町農地・水保全広域協定運営委員会総会

4月9日、第10回清里町農地・水保全広域協定運営委員会総会が農協第4階会議室で開催され、委員18名(内委任状1名)が出席しました。

議案第1号『令和6年度事業実績及び収支決算報告並びに監査報告について』、議案第2号『令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について』、議案第3号『令和7年度運営委員会日当・作業等借上げ料金表について』、議案第4号『清里町農地・水保全広域協定運営委員会参加同意書の承認について』が執行部より提案され、議案第5号『その他』については、交付単価の考え方について報告がありました。

★令和7年度役員
 ・会長 工藤 一仁氏
 ・副会長 佐藤 繁雄氏



令和7年度 冬季懇談会

2月20日～22日の3日間にわたり、組合員162名の出席により、令和7年度冬季懇談会が開催されました。

懇談事項は「令和6年度事業決算見直しおよび剰余金処分の方針について」、「令和7年度事業計画(案)」について、「第11期総合5ヶ年計画(案)」について提案し、各部署への活発なご意見・ご要望をいただきました。

これからの5ヶ年の中期計画の内容に沿って取り進めるとともに、貴重なご意見について、今後の事業運営に反映させていただきます。



第74回オホーツク農協 青年部協議会定期総会

当JA青年部役員が
上部組織役員に再任

3月11日、オホーツクJA Bldg. で開催された第74回オホーツク農協青年部協議会定期総会において、当JA青年部員である2集団の畠山幸樹さんが上部組織であるオホーツク農協青年部協議会の役員(副会長)に再任されました。

青年部の更なる発展のために寄与される畠山さんが活躍されることを、農協全体としても応援して参りたいと思います。



第2回JA清里町 地域農業応援団会議

3月25日、農協2階会議室にて今期2回目となる第3期JA清里町地域農業応援団会議が開催されました。

本活動は、協同組合を核とした准組合員・一般町民との関係づくりを基に、地域農業応援団としての理解醸成と、各活動を通じて地域農業応援団の輪を広げることが目的に発足されています。

はじめに工藤専務(団長)より開会挨拶がなされ、事務局より令和7年度の活動計画(案)として視察研修の実施を計画しており、町内外の農業関連施設を視察する提案をしました。

またエコーショップ店長からはきよさと店の令和6年度の実績や毎月15日に実施している切麦の2割引セールなどについて好評である旨の報告がなされました。

その後の意見交換では、エコーショップに対するご要望や刷新された組合だよりとInstagramに対する前向きなご意見、さらには清里産生産物に対するPRや商品開発に関する活発なご意見とご要望をいただきました。

今回いただいた内容を協議しながら、今後、町民がよりご利用しやすい農協、エコーショップになるよう取り組んで参ります。



東野ひでき君を励ます会

「現場の声が届く農政の実現を目指して」

2月25日、当JAの階会議室において「東野ひでき君を励ます会」が16名の組合員および役員が集い、開催されました。白戸参事の進行により執り行われ、当JA 三上組合長から主催としての激励の挨拶に続き、オホーツク農協組合長 渡邊会長、連合会を代表して北海道信連 石井会長よりそれぞれ激励の挨拶がなされました。その後、参議院議員候補として立候補予定の東野ひでき氏から北海道農業への熱い思いと国政への要請に対する力強い決意表明をいただきました。最後には清里町農協青年部 塩澤部長より『ガンバロウ三唱』が行われ、帰りに際には東野ひでき氏自らが参加者一人一人と決意のこもった握手をされ、励ます会は終了となりました。



JAグループ北海道合同採用説明会

「JA・企業を合わせた46団体が参加」

3月3日に札幌ビューホテル大通公園で開催された(株)ジエイブロード主催によるJAグループ北海道合同採用説明会へ参加して参りました。道内から32JAに加え、他企業14社の46団体での開催となり、全体で参加された学生は58名、うち半数弱の27名がJAへの就職希望者となり、JA希望者に対する1分間PRタイム終了後、各ブースにおいて30分6ターンの説明会が行われました。知名度の高いJAのブースに行く学生が多く、非常に厳しい状況の中、当JAブースに来てくれた学生もおり、PR出来たものと思います。売り手市場での採用の厳しい現状ですが、今後採用に繋がる取り組みを検討しながら、当JAを知っていただけるよう取り組んで参ります。



令和7年度新規就農者 激励状贈呈式

次世代の若き後継者へ エールを込めて



4月14日、JAGグループ北海道の系統4連と全国共済連北海道本部より、新規就農者3名に対して激励状が授与されました。

三上組合長より「まずは農業塾で2年間しっかりと勉強していただき、ご両親、そして地域の先輩から色々と学びながら、地域のつながり、交流を深めていただきたい。」

農業人口が減少しているなか、就農されるということとは大変喜ばしいこと。皆さんの活躍に期待したい」と激励の言葉がありました。

新規就農者を代表し、第1営農集団の下田有隆さんからの答辞では、激励状、記念品贈呈に対する感謝の言葉と、「今後も知識と技術を研鑽していく。農協や関係機関の皆さまには今後のご指導をお願いしたい」との言葉を述べられました。

☆新規就農者

- ①氏名
- ②営農集団
- ③生年月日
- ④趣味・特技
- ⑤抱負



①中村 駿佑
(なかむら しゅんすけ)

- ②第1営農集団
- ③平成18年11月4日
- ④本をたくさん買うこと
- ⑤高校卒業後すぐに営農をするので、まだまだ不安がたかさんありますが、両親や先輩農家の方々にいろいろ教わりながら頑張りたいです！



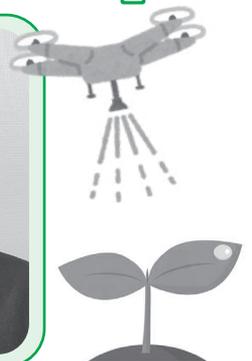
①下田 有隆
(しもた ゆうり)

- ②第1営農集団
- ③平成17年1月20日
- ④ドライブ・バドミントン
- ⑤農業大学校で習得した技術を活かし、様々な問題に柔軟に対応し、より良い営農をしていきたいと思っていますので、これからよろしくお願い致します。



①岩崎 心璃
(いわさき しんり)

- ②第4営農集団
- ③平成16年9月29日
- ④YouTubeを見ること・スポーツ
- ⑤1年目でわからないことだらけですが、皆さんの力を借りて一人前の農家になりたいです。よろしくお願い致します。



第11期 JAきよさと農業塾修了式

「農業塾第11期生5名が卒業」



(後列左から) 栗原調査役、城村営農部長、白戸参事、三上組合長、工藤専務、網走農業改良センター 荒井支所長、網走農業改良センター 小山係長、高野経営課長
(前列左から) 野崎竜矢さん、矢口悠耶さん、岡本和也さん、太田朝陽さん、横川竜聖さん

3月27日、JAきよさと農業塾第11期生の修了式が農協会議室にて執り行われました。

今回卒業する5名の塾生に対し、三上組合長より「2年間の農業塾を通じて成長し、顔つきも変わってきたと感じる。経営状況、経営形態それぞれ違いはあるが、わからないことは関係機関に相談し、早く父の背中を超えられるように1年1年勉強しながら取り組んでいたとき、夢を持って営農に取り組んでいたきたい。」と激励の言葉が贈られました。

また、来賓の網走農業改良普及センター清里支所 荒井支所長より、2年間の学習に対しての敬意と激励の言葉が贈られました。

その後、11期生5名に修了証書と営農日誌が授与され、11期生を代表して、横川竜聖さんからの答辞では、2年間のご指導いただいたお礼とこれからの決意を述べられました。

第13期 JAきよさと農業塾 入校式

未来に向けて、2年間の研修スタート



(後列左から) 栗原調査役、佐藤営農部次長、城村営農部長、白戸参事、網走農業改良センター 山田主査、高野経営課長
(前列左から) 工藤専務、岩崎心璃さん、下田有隆さん、中村駿佑さん、網走農業改良普及センター 荒井支所長

4月11日、農協会議室にて第13期となるJAきよさと農業塾の入校式が執り行われました。

新たに入校される3名の方に対し、三上組合長は「私たち農業者としての貴重な若手の就農、これから宜しくお願ひしたい。営農する上で、作業のやり方、肥料、農業の名前など覚えることがたくさんある。それだけではなく経営の分析をできなければならぬ。2年間、農業塾で学習し、20年後、30年後には清里町農業の中心となって活躍されることを期待したい。」と歓迎の言葉を述べられました。

また、来賓として網走農業改良普及センター清里支所 荒井支所長より今後の活躍に期待を込めた激励の言葉をいただき、入校式は終了し、その後懇親会が行われました。

第1回秋まき小麦

青空教室実施

4月11日に令和7年度の第1回秋まき小麦青空教室が網走農業改良普及センター清里支所職員を講師として、各集団の代表ほ場にて開催されました。

今年は年前の低温と融雪の遅延の影響から平年を下回る起生期での莖数となり、追肥量はどのほ場もほぼ一定量の試算となるが、ほ場状況等加味しながら実施時期を調整していただくよう説明がありました。

また、近年発生に悩まされている赤さび病の防除をはじめとした農薬や植物成長調整剤の使用に関する質問が多く、その他、今現状での対応すべきことなど興味深く、熱心に多くの質問が出ておりました。今後の栽培管理での出来秋に期待してまいります。



令和7年度

営農技術懇談会

2月18日、JA清里町2階会議室において令和7年度営農技術懇談会が開催され、組合員81戸が出席し、各関係機関より営農技術情報の提供が行われました。当組合農産産課からは「馬鈴しょを取り巻く課題」として、現状の主力品種であるコナヒメの生産性やBS資材、病害虫関係では夏疫病やシストセンチユウ対策について、また、試験関係では基肥増肥試験結果について説明されました。小麦については「網走農業改良普及センターより『きたほなみ安定栽培に向けて』と題し、安定した麦の収量確保に向けた栽培法の説明がありました。てん菜についてはホクレン原料所より生産実績や近年多発により減収に悩まされている褐斑病について、肥料高騰対策の取組み、令和6年度産てん菜の収入についての説明がありました。

今年は、営農技術懇談会に対する満足度調査アンケートにより行い、約7割の組合員さんから満足以上のご回答をいただきました。これからも各作物の収量・所得向上を目指して、より良い技術提供をしてまいります。



資材センター

春の園芸セール開催

4月17日～18日の2日間にわたり、JA清里町資材センターにおいて、春の園芸セールが行われ、本年度6回目の開催となりました。

今回のセールでは、例年同様、春作業に必要な肥料や農薬はもちろん、定番となったハセクマ、マキタを始めとする他メーカーに協賛をいただいていたの展覧によるセールとなりました。また、様々な資材がある中、農作物に有害なシカ対策資材としてのシカソニックやホクレン油機サービス様からは鹿・鳥獣バリアセットという単一電池4本で半径40m範囲に鐘の音がる資材など新しい商品も見られました。

本年も多くのお客様にご来場していただくことができました。今後も地域の皆さまに寄り添った資材センターとなるよう努めてまいりますので、皆さまのご来店を職員一同お待ちしております。



理事会の経過をお知らせ致します

第2回

3月10日(月)

1. 監査講評
令和6年度事業の監査報告について
- 付議事項

- 議案第1号 令和6年度独立監査人の監査報告書について
- 議案第2号 令和6年度監事監査報告書について
- 議案第3号 令和7年度固定資産の取捨廃棄取得について
- 議案第4号 JABバンクの内部管理態勢の改善について
- 議案第5号 令和6年度単体キャッシュフロー計算書の自己査定の結果について
- 議案第6号 労働保険事務組合の令和6年度徴収・納付状況について
- 議案第7号 JAB冬の懇談会の意見集約について
- 議案第8号 令和6年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、附属明細書、注記表、おおよび承認に別損益計算書、第77回通常総会議案の開催について
- 議案第9号 令和7年度経営定期点検実施計画について
- 議案第10号 総合農協監督指針の改正に伴う3つの方針について

1. 協議事項
- 食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に関する組織協議の実施について

報告事項

1. 第5回オホーツク産青果対策委員会報告および乳製品の消費拡大運動取りまとめ結果
2. 令和6年度産原料てん菜本精算に付いて
3. Gp緊急防除区域土壤検診結果について
4. 令和7年度固定資産取得に係る価格交渉結果について
5. 令和6年度JABバンクの内部管理態勢の改善について
6. JAの収支シミュレーションの実施結果について
7. 令和6年度単体キャッシュフロー計算書の自己査定の結果について
8. 労働保険事務組合の令和6年度徴収・納付状況について
9. 令和6年度内部実務室の業務活性化
10. 令和6年度報告書の監査結果について
11. 令和6年度報告書の監査結果について
12. 令和6年度報告書の監査結果について
13. 令和6年度報告書の監査結果について
14. 令和6年度報告書の監査結果について
15. 令和6年度報告書の監査結果について

第3回

4月4日(金)

付議事項

- 議案第1号 再建組合員の承認に付いて
- 議案第2号 理事の並びに貸付限度額の決定について

1. 報告事項
- 理事の並びに貸付限度額の決定について

報告事項

- 議案第3号 令和7年度通常総会の対応
- 議案第4号 令和7年度要員計画
- 議案第5号 令和7年度コンプラの制定について

報告事項

1. 令和6年度規格外小麦の精算について
2. 令和6年度産玉ねぎ(生食用)の選果終了報告について
3. 令和7年度清里町農業振興資金貸付事業(第1回申込)について

第4回

4月14日(月)

付議事項

- 議案第1号 令和7年度固定資産の取得について
- 議案第2号 令和7年度通常総会の集約について
- 議案第3号 理事の報酬配分について
- 議案第4号 令和7年度報告書の監査結果について
- 議案第5号 令和7年度報告書の監査結果について

協議事項

1. 令和7年度後継者の育成について
2. 令和7年度現場対策の進捗について

報告事項

1. 麦・大豆生産技術向上事業の取組みについて

組合員状況

〈令和7年3月31日現在〉

| ■組合員数 | | 〈前回報告より〉 | |
|-----------|--------|----------|--|
| 正組合員 (個人) | 203名 | (変動なし) | |
| 〃 (法人) | 18法人 | (変動なし) | |
| 准組合員 (個人) | 1,333名 | (変動なし) | |
| 〃 (法人) | 0法人 | (変動なし) | |
| 〃 (団体) | 17団体 | (変動なし) | |
| (合計) | | 1,571 | |



2. オホーツク産麦の流通課題
3. 令和7年度組合員勘定収支計画について
4. 令和7年度営農計画の作成
5. JAの業務継続要領の改訂について

人事異動発令

令和7年4月1日付をもって人事異動の発令がありました。

() は異動前の所属部門

○宮崎 涼匡

営農部農畜産課主査

(管理部企画審査課主査)

○佐藤 清孝

営農部次長

(業務部次長兼業務課長)

○松館 正太

金融部共済課主査

(金融部共済課勤務)

○橋本 光司

業務部業務課長

(営農部農畜産課長)

○伊藤 湊刀

業務部燃料自動車課主査

(業務部燃料自動車課勤務)

○佐々木 猛

営農部農畜産課長

(営農部農畜産課調査役)

○岩永 みちる

管理部企画審査課勤務

(管理部管理課勤務)

○栗原 淳

営農部経営課調査役

(営農部経営課主幹)

○久保田 乃愛

管理部管理課勤務

(営農部製造課勤務)

○田中 和浩

業務部燃料自動車課主幹

(営農部製造課主幹)

○中村 敬介

業務部業務課勤務

(業務部燃料自動車課勤務)

○谷澤 富夫

営農部製造課主幹

(業務部燃料自動車課主幹)

篤志による寄贈

ありがとうございます

この度、後継者育成基金運用委員会へ篤志による寄贈がありました。

○石井 透氏

○安藤 忍氏

○田中 博美氏

★後継者育成基金とは？

昭和52年に農協役員の方が若い世代へ役立てて欲しいと篤志を出していただいたことが発端となり、以降も退職される役員の方々や離農される組合員等のご厚意により積み立てられた基金となります。

この基金の運用は清里町農業後継者育成基金運用委員会(委員長として専務、委員は第一理事、代表監事、営農部長、青年部・女性部の正・副部長各3名の計10名で構成)を年1回開催し、基金の用途について協議の場を設けております。用途につ

いては、主に青年部・女性部の研修に加え、農業塾に対する研修に使わせていただいている大切な基金となっております。

今回、これまでに篤志をいただいた方々に感謝を申し上げますとともに、これからもご意向に沿った有意義な運用を行って参りたいと考えております。



☆新規採用職員をご紹介します！

令和7年4月1日付で新規採用となった新人職員をご紹介します。



○名前
本庄 虹湖
(ほんじょう くに)

○生年月日
平成18年8月9日

○出身地(市町村名)
清里町

○出身校(最終学歴)
北海道清里高等学校

○趣味・特技
ゲーム、音楽・体を動かすこと

○配属先
金融部金融課

○抱負
立派な社会人になるために、たくさん質問をして、仕事内容を覚えられるように、全力で頑張ります。



○名前
津田 花里菜
(つた かりな)

○生年月日
平成18年11月6日

○出身地(市町村名)
清里町

○出身校(最終学歴)
遠軽高等学校

○趣味・特技
音楽を聴くこと・人を笑顔にする

○配属先
管理部管理課

○抱負
早く仕事に慣れて組合員の皆様から信頼される職員になれるように頑張ります。

☆中途採用職員をご紹介します！

令和7年4月1日付で中途採用となった新人職員をご紹介します。



○名前
廣田 光枝
(ひろた みつぐ)

○生年月日
平成22年8月17日

○出身地(市町村名)
網走市

○出身校(最終学歴)
北海道清里高等学校

○趣味・特技
音楽鑑賞

○配属先
営農部製造課

○抱負
以前、管理課で勤めていたことがありました。二度目の入組、製造課という新しい課でこれからいことも多いですが、これまで経験を活かし、一日でも早く組合員の皆さまのお力になれるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



○名前
石井 将樹
(いしい まさき)

○生年月日
平成11年5月17日

○出身地(市町村名)
清里町

○出身校(最終学歴)
網走南ヶ丘高校

○趣味・特技
ゲーム・バスケット

○配属先
営農部農畜産課

○抱負
この人になら任せたい！と思われたいような職員になることが目標です。知識がまったくないので日々の経験を積み成長していきたいと考えております。

退職にあたって

定年退職

業務部業務課専門技術員 田中 博美



日一日と春の訪れを感じさせる季節となりましたが、組合員とご家族の皆さまにおかれましては春耕期を控えてお忙しいことと推察申し上げます。

私事ですが、この度3月末をもちまして定年退職致しました。

昭和57年4月に入組以来、43年間務めさせていただきました。この間、業務課、経営課、共済課、でん粉製造課、農畜産課といろいろな仕事を経験させていただきました。永きに渡り組合員の皆さまをはじめ役員の方々による、温かいご指導とご支援を賜り、大過なく定年の年を迎える事が出来ましたことを心より感謝とお礼を申し上げます。

農業を取り巻く情勢は、燃油をはじめとする、肥料、飼料等の生産資材の価格高騰や温暖化による高温と厳しい農業情勢の中ですが、日本の食料生産を担う大事な産業です。清里町農業が、組合員、役員が一体となって更なる躍進を期待しております。

最後になりますが、組合員、役員の方々のご健勝と清里町農業・農協が今後益々の発展をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。

長い間、多くの方々に大変お世話になりました、ありがとうございます。



金融部金融課 阿部 宏保



春暖の候、組合員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私事で恐縮ですが、この度一身上の都合により令和7年3月31日をもって清里町農業協同組合を退職致しました。

令和3年に入組し、金融部金融課に4年勤めさせていただきました。部署柄組合員の皆さまと直接接する機会が多くありませんでしたが、麦作や大豆の収穫、ポット支援などの貴重な体験を通してたくさんお声がけいただいたことは未だ記憶に新しいです。

組合員の皆さまには、私が至らざるご迷惑をおかけした場面が多くありましたが、本日まで勤めることができたのは、皆さまの厚いご支援とご厚誼の賜物であると深く感謝申し上げます。今後は、清里町農業協同組合での経験を活かし邁進していく所存です。

最後にはなりますが、清里町農業協同組合の益々のご発展と、組合員の皆さま方、役員の方々の皆さま方のご多幸をご祈念申し上げます。退職のご挨拶とさせていただきます。

4年間大変お世話になりました。

営農部農畜産課 横山 晃也



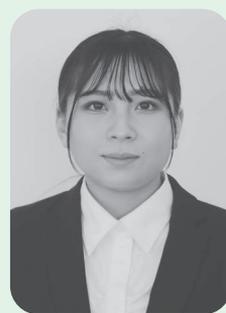
陽春の候、組合員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私事で恐縮ですが、この度一身上の都合により3月31日を持ちまして清里町農業協同組合を退職致しました。

令和4年に入組し、営農部農畜産課に3年間勤務させていただきました。主に種子麦生産組合事務局、大豆生産組合事務局、試験関係を担当しており、組合員の皆さまと接する機会が多い部署で働かせていただくことができ、大変貴重な経験となりました。

組合員の皆さまには、私が至らざるご迷惑をおかけする場面が多々あったかと存じます。本日まで勤めてこられましたのも、皆さまの温かいご支援とご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。清里町農業協同組合で培った経験を、今後も活かしていきたい所存でございます。最後にはなりますが、清里町農業協同組合の益々のご発展と、組合員の皆さま方、役員の方々の皆さま方のご多幸をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。

3年間大変お世話になりました。



この度、一身上の都合により2月末日をもちまして退職いたしました。

令和4年に入組して以来金融部金融課に3年勤めさせていただきました。

在職中は数々の失礼やご迷惑をお掛けしました事をこの場をお借りしてお詫び申し上げます。また、皆さま方には公私にわたり色々とお世話になりました事を厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、清里町農業協同組合の益々のご発展と組合員、役職員の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお礼申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



あけぼの食堂

あけぼの食堂とは「健康企業宣言」の一環として清里産食材を味わいつつ、皆さまの健康を手助けするようなレシピを作成・掲載していく活動です。



No.10

ゴマ香る

汁なし肉々うどん

材料 2人分

| | |
|-----------|---------|
| 清里生うどん | 300g |
| 豚ひき肉 | 100g |
| A 白練りごま、水 | 各大さじ3 |
| A 醤油、酢 | 各大さじ1.5 |
| A 砂糖、ごま油 | 各大さじ1 |
| A 豆板醬 | 小さじ1 |
| B 甜面醬 | 大さじ1 |
| B 醤油、砂糖、酒 | 各小さじ1 |
| ネギ、ラー油、花椒 | お好み |

作り方

- ① Aをボウルに混ぜ合わせ、器に半分ずつ分ける。
- ② 豚ひき肉を炒め、肉の色が変わってきたらBを加えて炒める。
- ③ 清里生うどんを茹でて、ザルに上げ、水気をよく切ったあと、①のタレが入った器に盛り付けて上に②を乗せる。
- ④ お好みでネギ、ラー油、花椒をかけて完成！

MEMO

- ・清里生うどんは麺がしっかりしていて、モチモチ！ごまのきいたとろみのあるタレと絡めてお召し上がりください♪
- ・辛いのが苦手な人は、豆板醬の量を減らしたり、コチュジャンに変更すると辛さが抑えられます！

100歳プロジェクト通信

生活習慣病のリスクをチェックしましょう!

あなたが糖尿病、高血圧、脂質異常症、脳卒中、心筋梗塞などの生活習慣病にかかりやすいかどうか、そのリスクをチェックしましょう。

下記の項目の内、どのくらいあてはまりますか?

生活面

3個以上当てはまる方は**要注意!**

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 20歳時よりも体重が10kg以上増えている | <input type="checkbox"/> 歯磨きは1日1回以下である | <input type="checkbox"/> しばしば孤独感を感じる |
| <input type="checkbox"/> お酒は1回2本*以上、かつ週5日以上飲む | <input type="checkbox"/> タバコを吸う | <input type="checkbox"/> 人と話すことが少ない |
| <small>*目安は、350mL缶のアルコール飲料2本またはお酒2合</small> | <input type="checkbox"/> 1日の座っている時間が9時間以上である | <input type="checkbox"/> 3年以上健診を受けていない |
| | <input type="checkbox"/> 睡眠不足で昼間眠気がくる | <input type="checkbox"/> 安静時心拍数が毎分90回以上である |

食事面

2個以上当てはまる方は**要注意!**

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 食事を抜いたり、時刻がまちまちである | <input type="checkbox"/> 1日の野菜や果物の摂取量が両手に載る1杯以下 | <input type="checkbox"/> 好きな食べ物に偏ってしまう |
| <input type="checkbox"/> 外食回数は週8回以上である | <input type="checkbox"/> 塩分が多い味付けが好きである | <input type="checkbox"/> 糖分を含む飲み物を1日4回以上飲む |
| <input type="checkbox"/> 早食いである | | |

運動面

1個以上当てはまる方は**要注意!**

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1日ですべてを動かすこと*が60分未満である | <input type="checkbox"/> 1週間の運動は60分未満である |
| <small>*日常生活における家事・労働・歩行など</small> | <input type="checkbox"/> 休日は天気が良くても外出することが少ない |

日本生活習慣病予防協会資料より抜粋



★JA健康寿命100歳プロジェクト対策協議会とは

健康寿命100歳を目指して、JA組合員ならびに役職員及びその家族の健康を守る活動とゆとりといきがいのある暮らしで元気に100歳まで生活する高齢者福祉活動に向けて、平成23年7月に組織改編し活動を行っています。

構成団体

JA北海道中央会、JA北海道信連、ホクレン、JA北海道厚生連、JA共済連北海道、北農健保組合(賛助会員)



JA健康寿命100歳プロジェクト

令和6年度 家庭介護 教室のご報告

高齢化の進展に伴い重要課題となっている認知症高齢者と家族への支援のため、家庭介護教室をWEB開催という形で実施し、36JA 267名の方々に参加いただきました。



令和6年
11月19日(火)

担当病院 旭川厚生病院

参加者 61名

講義①

**住み慣れた家で
その人らしく暮らし
続けるために**

～排泄の介助に必要なことは？～

講義②

こんな時どうしよう？

～認知症の人も、あなたも、
みんなが笑顔で暮らすための
ヒント！～



令和6年
11月22日(金)

担当病院 網走厚生病院

参加者 87名

講義①

**むせこみを防ぐ
食事介助のポイント**

講義②

こんなときどうする

～認知症かな？と思ったら
何をしたらいい？～



令和6年
11月25日(月)

担当病院 俱知安厚生病院

参加者 119名

講義①

**在宅介護に関わる
医療について**

～住み慣れた地域で安心して
老い、自分らしく暮らす
ために～

講義②

**アドバンス・ケア・
プランニング**

～認知症の父の介護と在宅
看取りの経験から～

講義の一部を **YouTube** で配信しています！



<https://youtu.be/tEq1c8XpSV4>



<https://youtu.be/J9mUps6EJQQ>



<https://youtu.be/jKmpiHm3m5l>



<https://youtu.be/uqDIET3TxhE>

発行 **JA健康寿命100歳プロジェクト対策協議会**(事務局：JA北海道中央会・JA北海道厚生連)
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目北農ビル TEL:011-232-6417 FAX:011-222-3598

●ホクレン原料所職員紹介●

ホクレン原料所では、播種・育苗時期からほ場での肥培管理等の栽培技術指導を中心に、高収量・高品質のてん菜を栽培する生産者皆さま方に指導をさせていただいております。また、新たな品種・農薬・肥料・技術の試験を実施し、新たな栽培方法の普及を図っております。栽培方法・除草剤・農薬・病害虫等わからない点がございましたら、遠慮なく原料所までご連絡ください。お待ちしております。

職員紹介

- ①氏名
- ②在籍年数

(右より)①古川 和貴 所長代理

- ②2月より
- ①青木 秀都
- ②3年目



●北海道オホーツク総合振興局

網走農業改良普及センター清里支所(清里町兼小清水町担当)紹介●

普及センターでは、畑作3作物をはじめ、畜産や露地野菜の安定生産を目指し、町やJAなどの関係機関と連携しながら活動を推進しています。さらに、多様な担い手の確保や省力的な生産技術の構築に向けた支援を行うため、今後ともよろしくお願い致します。

職員紹介

- ①氏名②清里支所在籍年数
- ③担当部門

(前列右より)

- ①山田 聡 主査(地域支援)
- ②1年目 ③畑作・畜産

- ①荒井 邦浩 支所長
- ②2年目 ③畑作

- ①小山 拓也 地域第一係長
- ②3年目 ③畑作・園芸

- ①米田 正彦 専門主任
- ②5年目 ③畜産

(後列右より)

- ①宇都宮 咲耶 普及指導員
- ②1年目 ③園芸

- ①伊藤 正樹 普及職員
- ②1年目 ③畑作

- ①萬歳 清幸 普及指導員
- ②6年目 ③畑作

- ①藤原 萌衣 普及職員
- ②5年目 ③畑作

